

幕張ベイタウン 年表

- 1945（昭和 20 年） ◇ 始まりは食料増産から
東京湾に残された数少ない臨海部の埋め立ては戦後すぐに始まる。1945 年、政府は食料増産のための緊急開拓事業のひとつとして幕張の埋め立てを閣議決定。その後、事業目的は中小工場用地造成に変更され、1964 年、60ha の造成が完成した。
- 1967（昭和 42 年） ◇ 海浜ニュータウン計画を発表
都心部から 30km 圏、広大な埋め立ての可能な稲毛、検見川、幕張に計画人口 24 万人の海浜ニュータウン建設が計画された。
- 1973（昭和 48 年） ◇ 海浜ニュータウン幕張地区埋め立て着工
- 1975（昭和 50 年） ◇ 「幕張新都心（A 地区）基本計画」を発表
業務中枢機能の東京一極集中に歯止めをかけることを目的に、住宅中心の土地利用計画を大幅に見直し、業務機能をもつ新都心を建設することを決定。現在の幕張新都心を構成する業務研究・タウンセンター・住宅・海浜公園などの要素も出そろろう。
- 1976（昭和 51 年） ◇ 「学園のまち」構想を発表
1976 年の「千葉県新総合五ヶ年計画」は、千葉圏内における進学率の上昇、学生数の増加に対応して幕張新都心に教育文化機能を充実させる「学園のまち」構想を示した。
- 1978（昭和 53 年） ◇ 成田に新東京国際空港開港
- 1980（昭和 55 年） ◇ 幕張地区埋め立て工事完了
◇ 人口海浜「幕張の浜」「稲毛の浜」オープン
- 1982（昭和 57 年） ◇ 幕張メッセ構想を発表
◇ 千葉スタジアム構想を発表
- 1985（昭和 60 年） ◇ 幕張メッセ施設基本計画策定
◇ 幕張新都心都市施設基本計画策定
「幕張新都心都市施設基本計画」は、幕張新都心を 21 世紀にふさわしい都市として整備していくために特に都市施設に着目。交通輸送計画、環境整備計画、都市整備計画について具体案を作成。現在の土地利用の骨格が完成する。

- 1986（昭和 61 年） ◇ 海浜幕張駅開設
- 1987（昭和 62 年） ◇ 幕張海浜公園オープン
新都心のオアシス、幕張海浜公園の一部（中央地区）がオープンした。海浜公園は総面積 72ha、日比谷公園の約 4 倍。
- 1988（昭和 63 年） ◇ 幕張新都心まちづくり協議会発足
◇ 幕張新都心環境デザインマニュアル策定
- 1989（平成元年） ◇ 幕張メッセオープン
◇ 幕張新都心に拡大地区を編入
- 1990（平成 2 年） ◇ 千葉マリスタジアムオープン
◇ JR 京葉線全線（蘇我～東京）開業
◇ 幕張テクノガーデンオープン
◇ 幕張新都心住宅地事業計画策定
「幕張新都心住宅事業計画」が決まる。国際業務都市にふさわしい都市型住宅の建設をめざし、翌 91 年、住宅事業者 8 グループ、（公団、公社、民間 6 グループ）を選定。93 年に着工。
- 1991（平成 3 年） ◇ 千葉業務核都市基本構想（幕張新都心含む）が承認される
◇ ワールドビジネスガーデン（WBG）オープン
- 1992（平成 4 年） ◇ 日本都市計画学会「石川賞」を受賞
幕張新都心の総合的な街づくりに対して 92 年、日本都市計画学会賞石川賞が千葉県に贈られた。道路、公園緑地、地域冷暖房など質の高いインフラ整備と優れたデザインによって事業者を誘導するなど、先進的で官民一体となった業績が評価され、自治体では初の受賞となった。
- 1994 年（平成 6 年） ◇ 幕張ベイタウンの分譲開始
バブル崩壊によりタウンセンター地区（商業地区）の進出企業の撤退、計画の遅れなどが表面化する。住宅地区は計画より 1 年遅れの 1994 年 5 月、M2 街区の一期分譲を開始。幕張方式といわれる〈土地転貸借権付分譲住宅〉方式が注目を集め、最高 367 倍の応募倍率となる。
- 1995（平成 7 年） ◇ 住宅地区「幕張ベイタウン」入居開始
◇ 住宅地区に打瀬小、中学校開校

幕張ベイタウンの第一期として、パティオス1番街～6番街の入居者704戸、1800人が3月に入居開始。4月には住宅地区に打瀬小、中学校開校、97年には海浜幕張駅との間をベイタウンバスも開通。開かれた生活複合都市として成熟の第一歩を踏み出した。

- 1997（平成9年）
- ◇ 「ベイタウンバス」運行開始
 - ◇ ベイタウン高層街区、超高層街区に着手
- 1998（平成10年）
- ◇ 幕張ベイタウンに商業施設棟オープン
- 1999（平成11年）
- ◇ 幕張新都心が10周年を迎える
 - ◇ 幕張ベイタウンがグッドデザイン賞施設部門のアーバンデザイン賞を受賞
幕張新都心の街びらきから10周年を記念して、9月22日に「10周年記念式典」が行われた。
- 2000（平成12年）
- ◇ マリーナデッキ完成
 - ◇ タウンセンター地区・拡大地区に大型商業施設が次々オープン
土地貸付事業制度を活用し、カルフルー、コストコホールセール、ガーデンウォークがオープン。広域的な集客が見込まれる大型商業施設の誘致により、新都心の賑わいがますます高まることが期待される。
- 2001（平成13年）
- ◇ 幕張ベイタウンに海浜打瀬小学校開校
 - ◇ 幕張ベイタウンの人口1万人を超える
- 2002（平成14年）
- ◇ 千葉港 港湾計画に旅客船ふ頭の位置付
 - ◇ 幕張ベイタウン・コアがオープン
 - ◇ 幕張ベイタウンに初の保育園開園
 - ◇ 海浜幕張駅前に「シネマ・コンプレックス」誕生
- 2003（平成15年）
- ◇ 住宅地区「幕張ベイタウン」の住宅供給戸数が5,000戸を超える
- 2006（平成18年）
- ◇ 幕張ベイタウンの人口2万人を超える
 - ◇ 住宅地区に「美浜打瀬小学校」が開校
 - ◇ 幕張メッセの来訪者が1億人を突破
- 2007（平成19年）
- ◇ 住宅地区に「みらい保育園」が開園

出典：幕張ベイタウン HP (<http://www.makuhari.or.jp/>)